

私の博物誌

題字 石川進

第六十三回 「西へ」⑫ イルフ童画館

やわらかな春の午後の陽がこの建物に降っている。「イルフ童画館」に私達は到着した。今朝、敦賀を出て大きく迂回して走り、中央高速に戻り、八・五キロ余りの長い恵那山トンネルを通り抜け、東に向かっている。

高原地帯の桜は四月の下旬に咲いて、私達の目を楽しませてくれる。

岡谷ジャンクションで降りた車は、一般道へ出た。登り下りの多い高原地帯を縫うようにして、無休のままこの美術館に辿り着いた。

岡谷の市の中に位置している。「イルフ童画館」の一階は、絵本やグッズの売店が占めている。二階のメイン展示室は、いくつかのブロックに分かれ、分野別に作品が並ぶ。

この建物自体、単独ではなく、様々な業種の店が壁で仕切られて営業している。「イルフ童画館」は大きめのブロックを占有して、入館者に作品を見せるという形

式である。

私事になるが、武井武雄の作風は成長の傍ら、間歇泉のような塩梅で、時折、あるいはしばしば眺めながらの生活で、友人に借りたり、貸本であったりの古いつきあいだったのを思い出す。

多種多様な作風を目のあたりにすると、各々の分野に対する彼の表現力と集中力は尋常一様な人ではなかったことが判る。何度か彼の一身上には不幸が起こり、戦前の昭和十三年、母親と次男を亡くし、翌十四年には三男をも失うという一大事が襲ったのだ。

昭和二十年、敗戦色も濃厚になったころ、池袋の自宅は焼失、作品と蒐集した貴重な資料も失っている。彼自身は故郷岡谷に疎開して、死だけは免れたのは良かったと思う。

彼の童画の根本を為す思想は、吾が子等と共に天逝した子ども達へのレクイエムでもあり、今を生き将来を担う子ども達全て

に捧げられた讃歌だったのではないかと私は思う。この作家の名を確立したメイン・テーマである「童画」をはじめとして、各種のデザイン、版画、大傑作といえる刊本作品（二・三七刊々行、彼自身がつけた呼称が刊本）、児童文学、童画評論、玩具の蒐集と制作など分野は広いうえ、各分野そのものが多岐に亘り、技法や手法の切り口は多彩を極める。

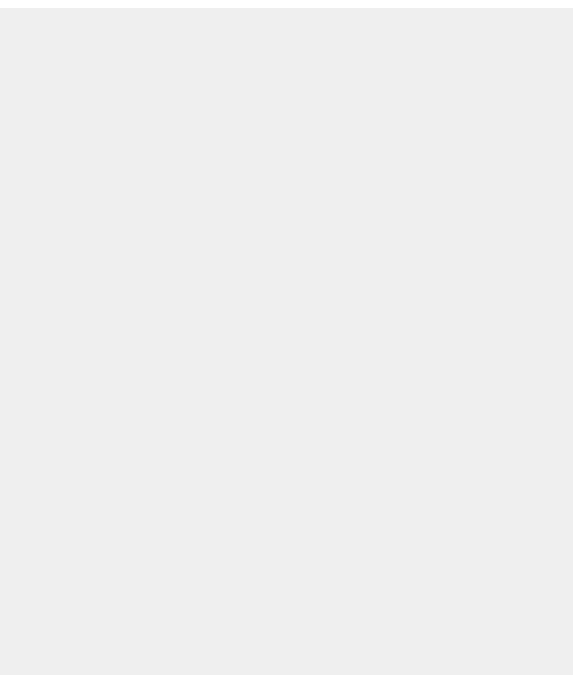
彼の体臭の中にはワシリー・カンディンスキーの建築家的精密さや、色彩感覚にはパウエル・クレイやジョアンミロを彷彿とさせる憧憬を思わせ、感受性の窓口の広さに私は何度も驚かされるのだ。

彼の線描にも独特のものがあがり、曲線も強靱に引き締まっています、この勁利さは他の追隨を許さぬものがあると思う。中国の前漢からその例を見ることが出来る「鉄線描（屈鉄線とも）」を想起する。

玩具の一分野と見ることが出来るカルタの作品の諧謔味は、子どもを子どもとしてというより、等身大の人間として扱っていることが蒐集品を含む作品全体の中からは、武井武雄の慈愛のまなざしとして心を打つのだ。

彼の心底に大きく横たわるこの心こそが優れた沢山の作品を生み落とす何よりの力だったのだと思う。

近年「コードモノクニ」復刻版を数冊手に入れた。それを手に採ってページを繰りながら、自身を恥じた。「月のこちら側だけを見て年をとってしまったのか」と。真逆の時代背景の中にしか、真実に立ち向かう思想は生まれることができないのだろうか。君子の出現がなくとも済んでいる現代の太平楽の世は何なのかと、彼の一連の作品を見ながら、ふと、お天道様がいつになく眩しく感じられた。



銅版絵本『地上の祭』。天地 357 × 左右 300 × 束 20mm。背草紙表紙(角丸)の丸背装製本で、背バンド装。実際の完成・配本は昭和14年6月末。頒価 25円、アオイ書房刊



書いている人



石川 進

いしかわ・すすむ

一九四二年、いわき市平生生まれ。石川紋店代表。家業のかたわら、幼少から書に親しむ。書の世界で培った点・線・面と墨・紙・水の生理を追求し、石刻による印とのコラボによる抽象、具象の絵画表現を展開。書学書道史学会会員、書法探求顧問

車に詳しくない方、セカンドカーをお探しの方、維持費を抑えたい方にお勧め

1か月から借りられるカーリース

| | | |
|---|--|---|
| <p>リースナブルなら 安心LIFE</p> <p>月々 15,000円〜 500円〜/1日換算</p> | <p>リボーンおため 快適LIFE</p> <p>月々 21,000円〜 700円〜/1日換算</p> | <p>ほとりのランクアップ 満足LIFE</p> <p>月々 27,000円〜 900円〜/1日換算</p> |
|---|--|---|

REBORN CARLEASE
いわき市好間町大利字井田木140
DEC (株)デック TEL.0246-38-4034

人と自然の
未来のために

株式会社クレハ環境
代表取締役社長 名武克泰
〒974-8232 いわき市錦町四反田30番地
☎0246-63-1231代 FAX0246-63-1232

一古布ちりめん細工—
地域の皆様の作品を交流ホールで
展示しております。お気軽にご覧下さい。

虎の門病院医師ネットワーク会員
人工透析施設

医療法人 **かもめクリニック**
理事長 金田 浩

| | |
|--|---|
| <p>かもめ・みなとみらいクリニック 横浜市西区みなとみらい3-6-3MMパークビル3F TEL.045-228-2212</p> | <p>かもめ・大津港クリニック 北茨城市大津町北町字深田432-1 TEL.0293-46-0133</p> |
| <p>かもめクリニック いわき市草木台5-8 TEL.0246-28-1010</p> | <p>かもめ・日立クリニック 日立市東滑川町1丁目3186 TEL.0294-25-1531</p> |